

優しくて大好きなお父さんへ

渋川 彩華

お父さんの仕事は、病院の受付や机に向かって何か計算したりしています。

前にお父さんってどんな仕事をしているの？って聞いたときは難しくてわかりませんでした。今回も少し聞いたけどやっぱりわかりません。

でも他の友達のお父さんと違う事は、私のお父さんは日曜日以外にもお休みが少し多くて、だからいつも一緒にいられて嬉しいです。

季節ごとにいろんな所に連れて行ってくれます。春はお花見、夏やキャンプ、秋は紅葉狩り、冬はスキー、その代わり宿題や勉強の時は、ものすごく怖くていつも怒られて泣いています。

でも泣いた分、「しょうがないなあ」と言ってもまた遊びに連れて行ってくれます。

だからそんなお父さんが大好きです。

小さい頃は「お父さんのお嫁さんになる」とよく言っていたよ？とお母さんに聞いて、少しびっくりしました。なんでかと言うと、お父さんの様な人と結婚したいなあと思っている

からです。

だからお母さんがとてもうらやましいです。今でも父の日や、お父さんの誕生日には直接言おうと、恥ずかしいのでカードにありがとうとたくさんのお好きを書いていきます。

きっと兄弟がたくさんいたらこんなに遊びに連れて行ってくれてないだろうし、怒られることも無いのかもしれないけど、一人っ子で無かったらお父さんを独りじめ出来ないかとわかっていきます。でもお母さんもお父さんの事が大好きなので、お母さんとお父さんの取り合いをしています。

なんだかお母さんとは、友達みたいな感じでお父さんにしたずらしたりするのが、とても楽しいです。お母さんと二人でお父さんの事がとっても大好きです。

いつか好きな人のお嫁さんになる時まで、これからもお父さんが私の一番の好きな人であると思います。

この作文にたくさんのお好きのありがとうを書こうと思ったけど、けっきょくたくさんのお好きになってしまいました。

この作文を、お父さんが読んで喜んでくれたら、とっても嬉しいです。